

# 電気工事チェッカー らくらくチェッカー

## 5つのチェック機能

1 ~ 4 のチェックがワンタッチで簡単にできます。

1. 分岐回路チェック
2. 電圧チェック
3. 極性チェック
4. 接地チェック
5. 漏電遮断器動作チェック

これら5つの機能が1台に収まっていますから、作業の途中で別のチェッカーに取り替える必要がありません。

### 停電の必要がありません

ご家庭の増改築工事の場合など、活線状態での迅速な作業のご要望に停電の必要なくチェックが可能です。

漏電遮断器動作チェックを行う場合、漏電遮断器が正常に動作すると停電します。

### 2P-3Pどちらのコンセントにも対応

変換アダプタを用意しなくても2P-3P兼用のプラグの付いた電源ケーブルを標準装備しています。

## らくらくチェッカー ECR00

最大5.5mm<sup>2</sup>までの電線をクランプできるセンサーを標準装備。



### 取扱手順(自動モード、手動モード2)

取扱手順の一例を記載しています。

(1) 分岐回路判別器を分電盤に取り付けた後、電源コードとセンサーを取り付け、電源スイッチを入れます。(線路探索時に必要です。)

センサー取り付け拡大図

分岐回路判別器取り付けベルト  
センサー  
電源コード

(2) チェッカー本体のプラグをコンセントに差し込みます。(コンセントに差し込んだ直後に自動で「電圧チェック」を行います。)(電圧OK)

コンセント

電圧チェックOK後の表示

機能選択ボタン 実行ボタン

(3) 機能選択ボタンを押して機能を選択し、実行ボタンを押すと各モードでチェックを開始します。

すべてOKの場合 接地NGの場合

表示例

【電圧】・【極性】・【接地】・【線路探索】のチェック結果を表示します。

【極性】ランプ点灯、【接地】ランプ点灯、分岐回路番号が点灯表示します。

「機能選択」ボタンを押すたびにモードが変わります。(電圧チェックは自動)

```

    graph LR
    A[電圧チェック] -- OK --> B[自動モード]
    B --> C[手動モード1]
    C --> D[手動モード2]
    D --> E[手動モード3]
    E --> C
    
```

### チェックモードと表示(例:自動モード)

表示の一例を記載しています。

表内の表示

- : 消灯
- : 点灯
- ▲ : 点滅

チェックスタート! 自動

電圧チェック

OK!

自動モード

自動モード選択状態となっています。

《機能選択》の【極性・接地】、《結果》の【電圧】ランプが点灯し、分岐回路番号が「-」表示します。

「機能選択」ボタンを押さないで「実行」ボタンを押す、または他のモードになっていた場合は、「機能選択」ボタンを押して、《機能選択》の【極性・接地】、【線路探索】《結果》の【電圧】ランプを点灯させ、「実行」ボタンを押すと、チェック開始!

極性チェック → 接地チェック → 線路探索

自動モードでは、【極性】チェック、【接地】チェック、【線路探索】を連続して、自動で行い、最後にまとめて結果を表示します。ただし、【極性】チェックでNGまたは【不明】の場合はの矢印の流れになります。

3つのチェックの結果表示

例: すべてのチェックでOK!  
(《結果》の【極性】、【接地】ランプが点灯、分岐回路番号が点灯表示)

型式	ECR00	
ご注文品番	ECR00	
チェック対象電気方式	単相回路専用	
線路探索回路数	24回路 標準装備	
外形寸法 (タテ×ヨコ×フカサ)	本体 175×70×39mm(突起部除く)	分岐回路判別器 121×174×72mm(突起部除く)
質量	約240g	約650g
センサー	標準センサー( ECR-2S ) 付属	
標準価格(円)	123,800	

漏電遮断器動作テスト(ELBテスト)についてのご注意!!  
漏電遮断器動作テストが正常に行なわれると、漏電遮断器が動作し、すべての電源がなくなりますので、注意して行ってください。漏電遮断器動作テストは、「機能選択」ボタンを押して、【ELBテスト】を選択し、「実行」ボタンを2秒以上押し続けてください。漏電遮断器が正常であれば、漏電遮断器が動作します。(コンセントのアース接続が必要)

情報機器 警報器 検知器 計測器 産業機器